

# 令和2年度供給・献血実績等について



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

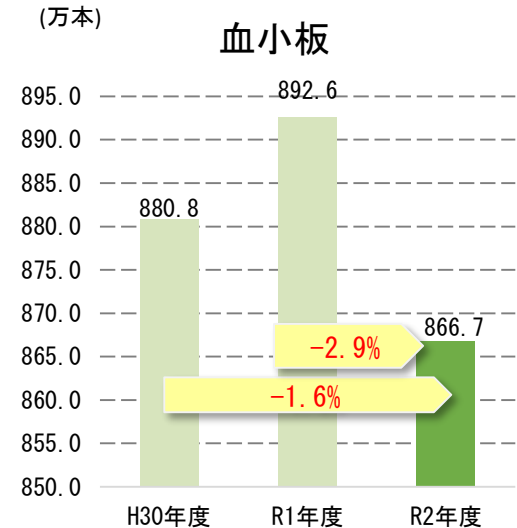
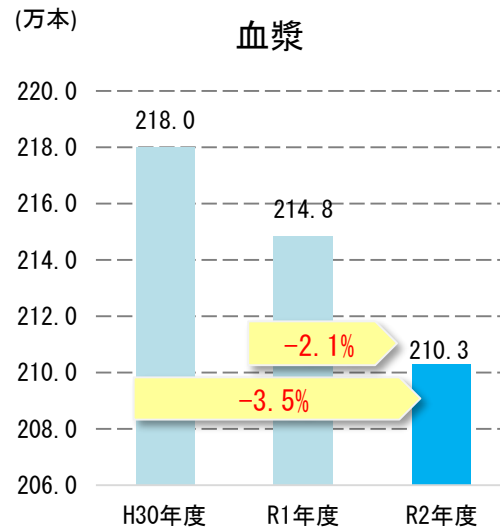
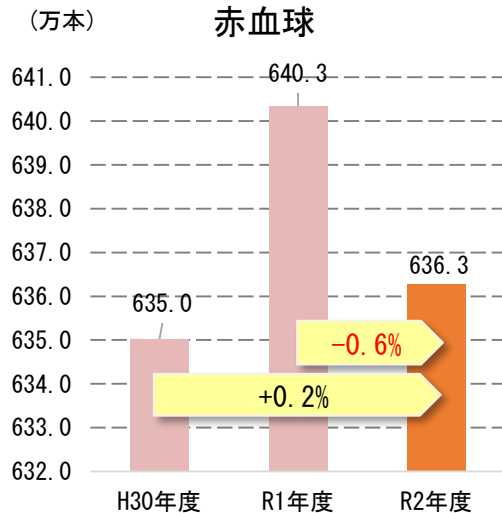
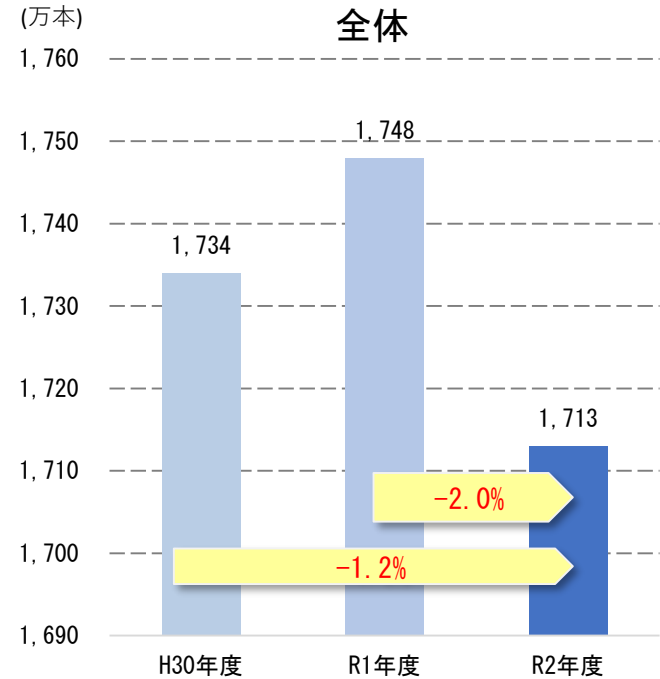
令和3年7月30日（金）  
薬事・食品衛生審議会  
血液事業部会献血推進調査会

- 1 供給実績
- 2 献血実績
- 3 献血血液確保に係る取組について
- 4 新型コロナウイルス感染症に伴う対応について
- 5 まとめ

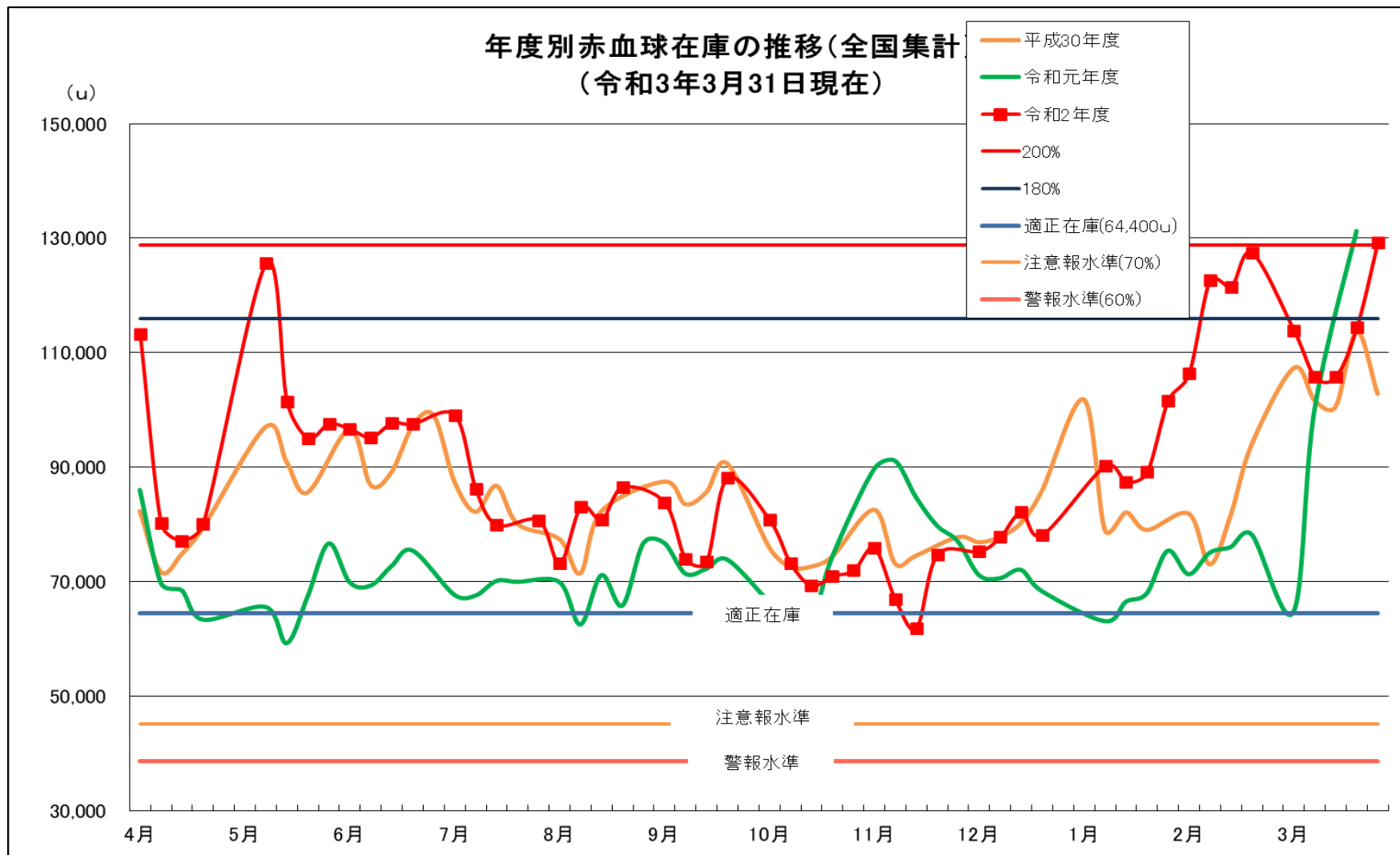
# 1 供給実績

- 全体は令和元年度実績に対し、**2.0%減**の約1,713万本
- 赤血球は**0.6%減**の約636.3万本
- 血漿は**2.1%減**の約210.3万本
- 血小板は**2.9%減**の約866.7万本

※製剤本数は200mL献血由来を1本とした換算数



## 赤血球製剤の在庫推移

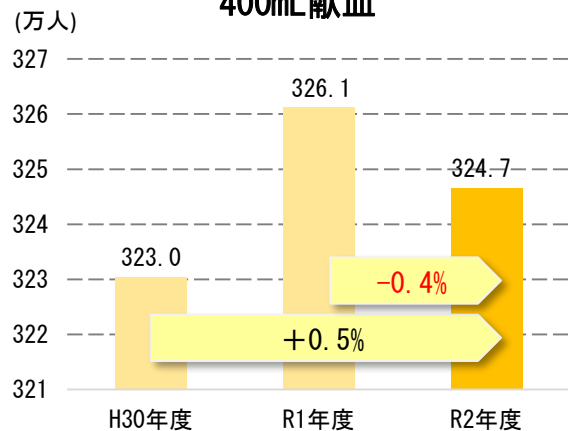


年間を通じて安定供給が確実にできている

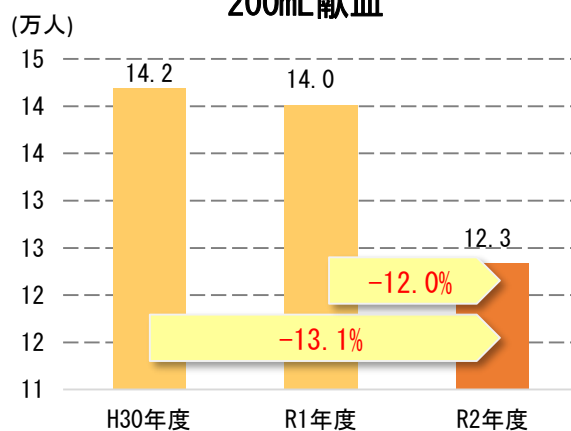
## 2 献血実績

総献血者数は、令和元年度比で111,432人増（2.3%増）の約503万8千人

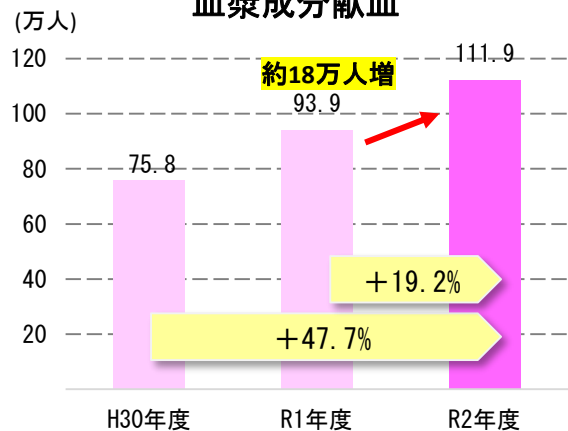
### 400mL献血



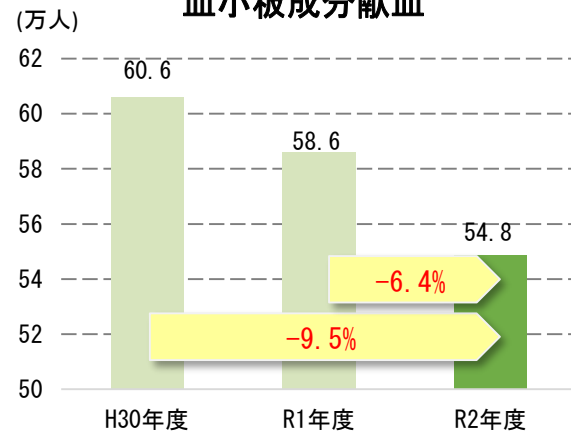
### 200mL献血



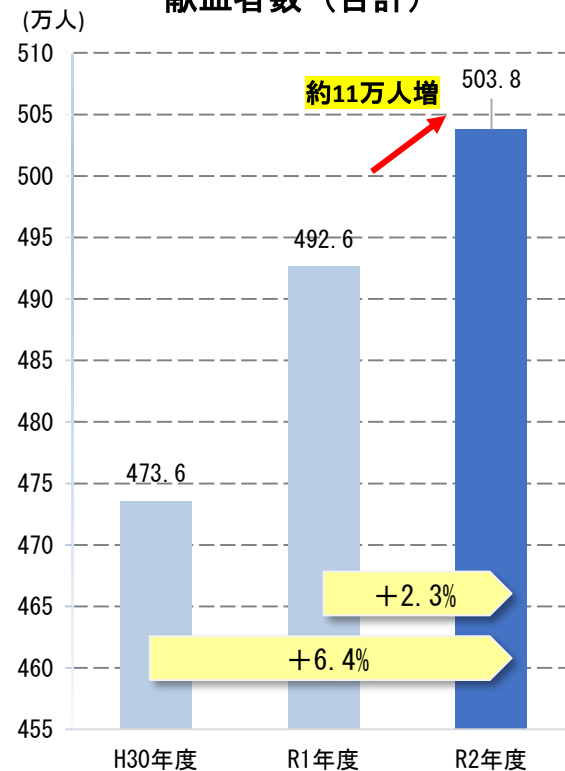
### 血漿成分献血



### 血小板成分献血



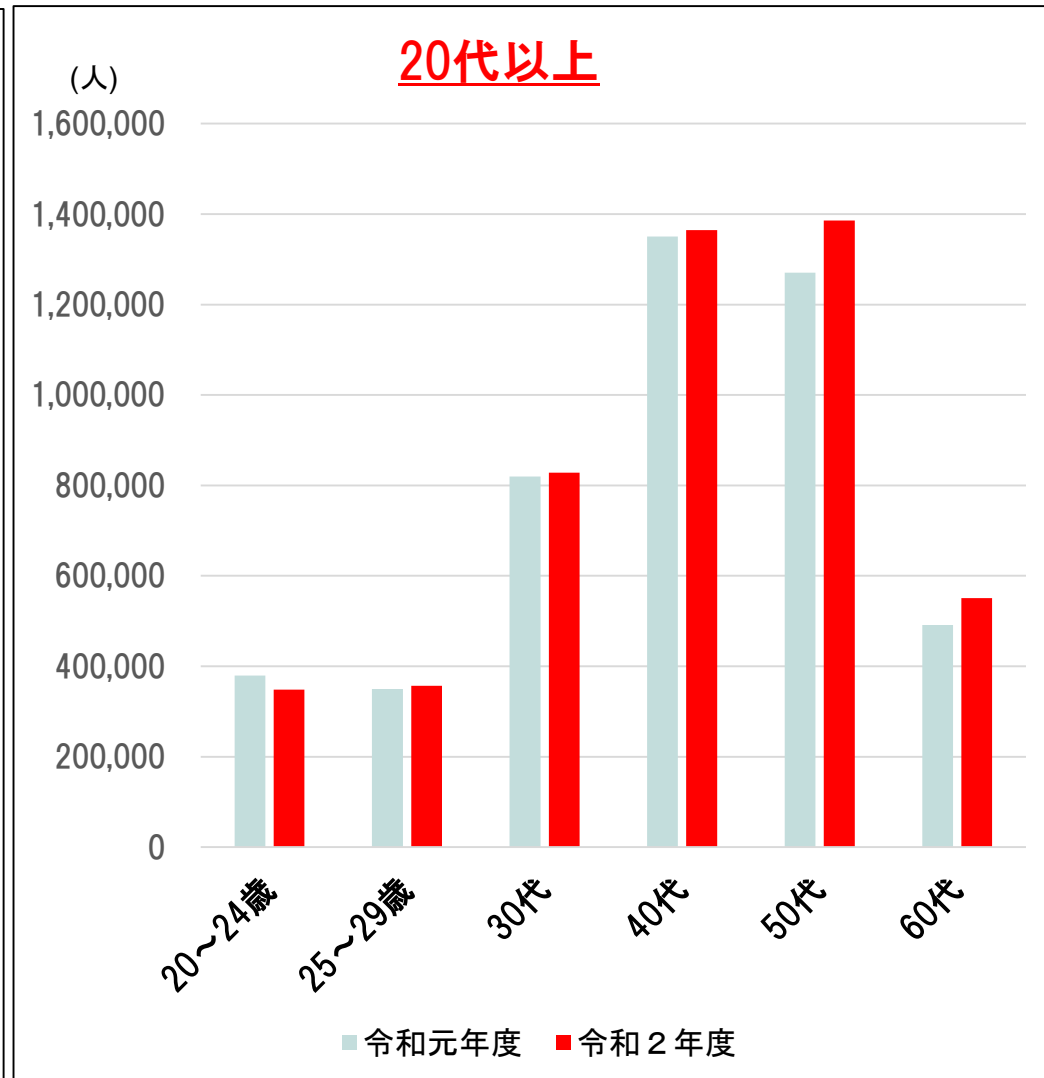
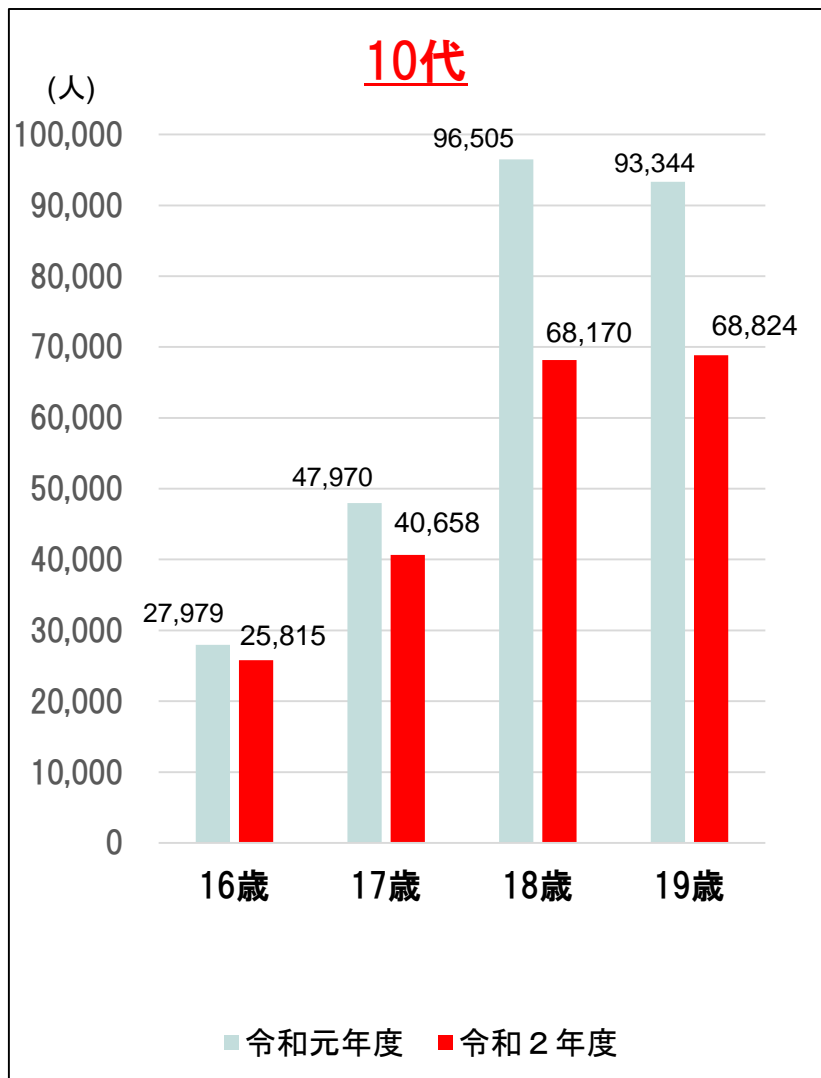
### 献血者数（合計）



献血推進計画における確保目標量に対する実績

種別	目標量	採血量(実績)
全血採血	133万リットル	132万リットル
血漿成分採血	58万リットル	61万リットル
血小板成分採血	30万リットル	30万リットル

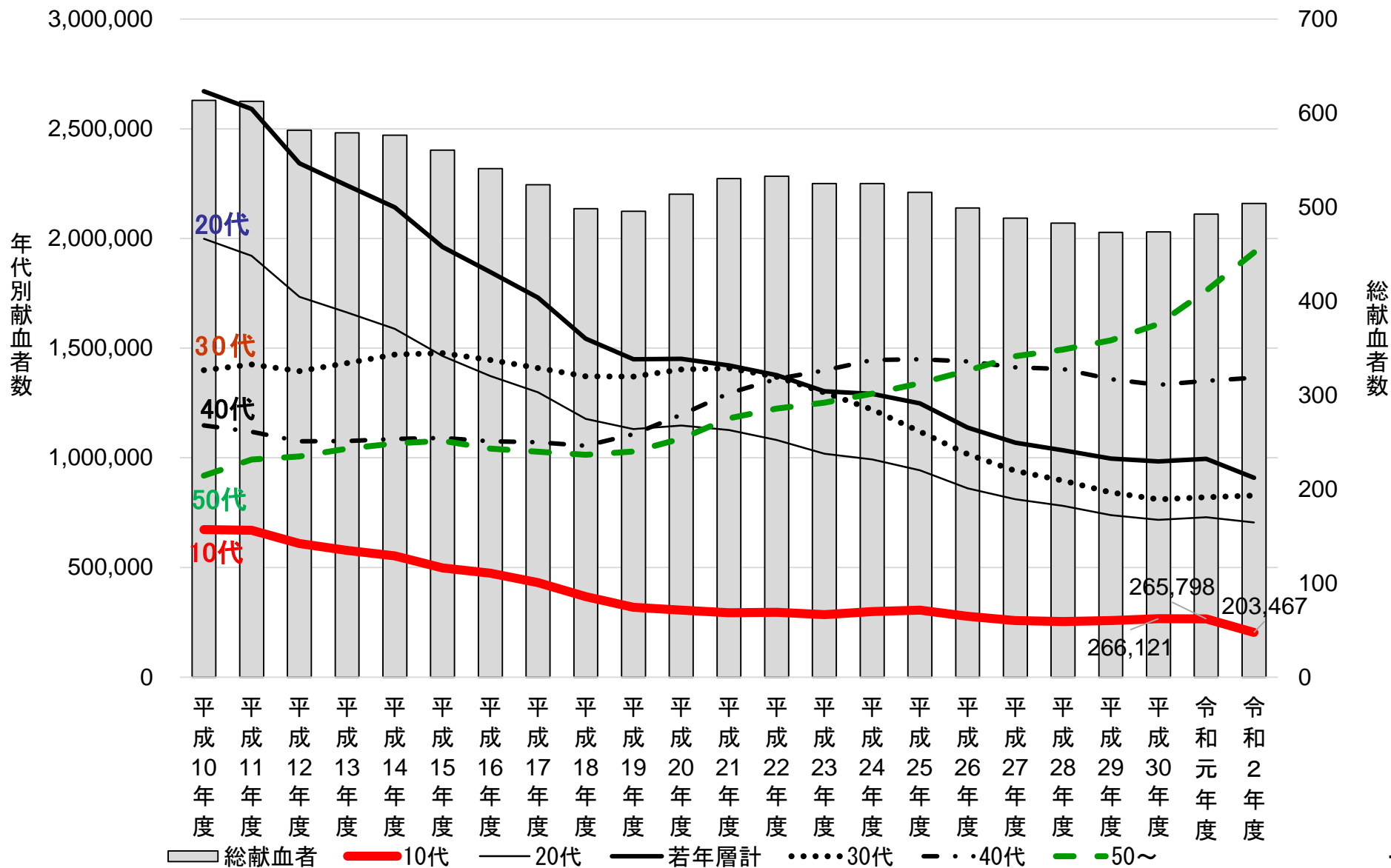
## 年代別献血状況（対前年度）



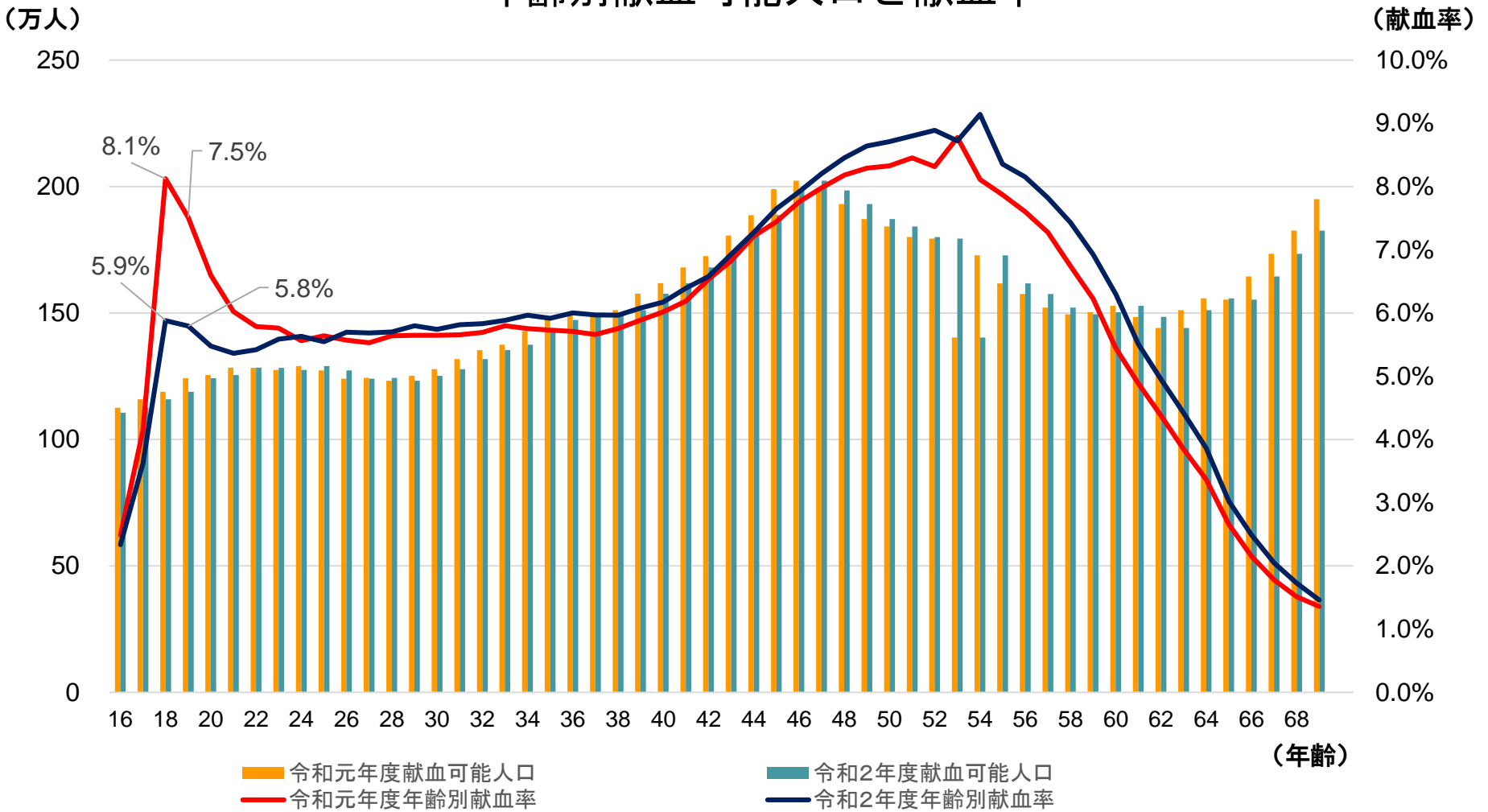
10代の献血者は、対前年度で62,331人減（-23.5%）と減少した。

# 延べ献血者数（年代別・総数）

(万人)

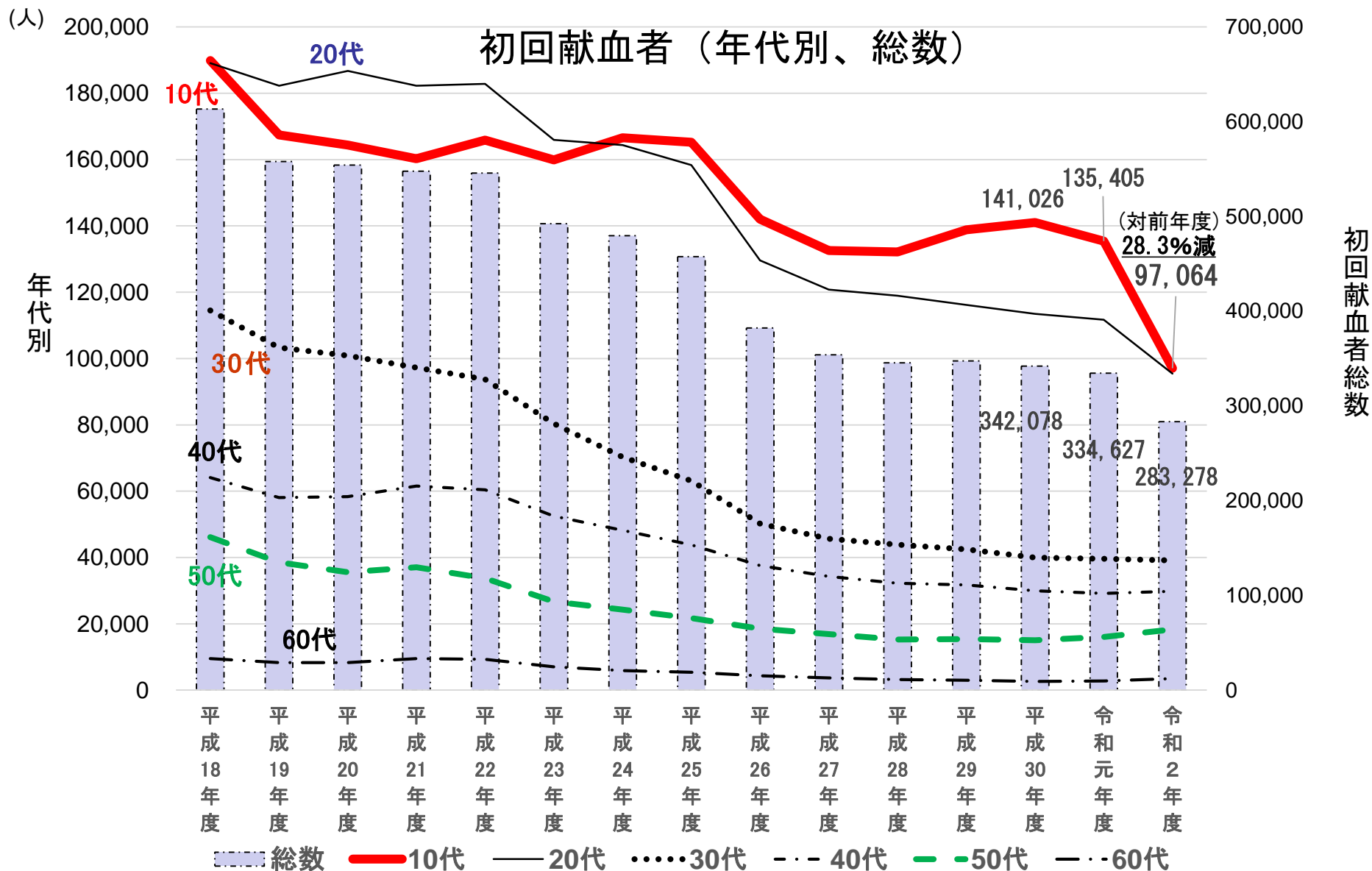


## 年齢別献血可能人口と献血率



年齢別献血率は、18歳 (-2.2%)、19歳 (-1.7%) が減っている。  
24歳以上の傾向はほぼ令和元年度と同じである。





10代の初回献血者は、対前年度38,341人減（-28.3%）であった。

# 都道府県別10代献血者数

年代	10代				
	16歳～19歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (元年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	15,000	10,785	14,890	71.9%	72.4%
北海道ブロック	15,000	10,785	14,890	71.9%	72.4%
青森県	3,500	3,022	3,831	86.3%	78.9%
岩手県	2,665	1,939	1,992	72.8%	97.3%
宮城県	5,952	4,279	6,459	71.9%	66.2%
秋田県	2,202	1,929	2,039	87.6%	94.6%
山形県	2,113	2,121	2,111	100.4%	100.5%
福島県	3,200	2,780	3,102	86.9%	89.6%
東北ブロック	19,632	16,070	19,534	81.9%	82.3%
茨城県	6,450	6,278	6,749	97.3%	93.0%
栃木県	8,400	9,386	8,983	111.7%	104.5%
群馬県	5,680	5,460	6,528	96.1%	83.6%
埼玉県	15,620	10,628	13,290	68.0%	80.0%
千葉県	12,360	8,284	12,231	67.0%	67.7%
東京都	29,720	16,947	28,029	57.0%	60.5%
神奈川県	15,380	12,645	14,571	82.2%	86.8%
新潟県	5,350	3,583	5,024	67.0%	71.3%
山梨県	3,400	2,998	3,324	88.2%	90.2%
長野県	2,840	2,833	2,789	99.8%	101.6%
関東甲信越ブロック	105,200	79,042	101,518	75.1%	77.9%
富山県	2,336	1,625	2,335	69.6%	69.6%
石川県	2,650	2,061	2,760	77.8%	74.7%
福井県	1,458	926	1,366	63.5%	67.8%
岐阜県	4,094	2,636	3,442	64.4%	76.6%
静岡県	8,355	5,847	7,433	70.0%	78.7%
愛知県	16,576	12,303	14,696	74.2%	83.7%
三重県	2,756	1,907	2,077	69.2%	91.8%
東海北陸ブロック	38,225	27,305	34,109	71.4%	80.1%

年代	10代				
	16歳～19歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (元年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	2,767	2,534	2,648	91.6%	95.7%
京都府	5,459	3,818	5,382	69.9%	70.9%
大阪府	19,118	14,068	18,012	73.6%	78.1%
兵庫県	11,999	7,218	10,299	60.2%	70.1%
奈良県	2,124	1,884	2,001	88.7%	94.2%
和歌山県	2,486	1,936	2,981	77.9%	64.9%
近畿ブロック	43,953	31,458	41,323	71.6%	76.1%
鳥取県	963	615	969	63.9%	63.5%
島根県	1,045	499	893	47.8%	55.9%
岡山県	4,518	2,684	4,322	59.4%	62.1%
広島県	6,478	4,378	6,492	67.6%	67.4%
山口県	2,236	1,660	2,278	74.2%	72.9%
徳島県	1,132	744	973	65.7%	76.5%
香川県	2,009	1,339	1,919	66.7%	69.8%
愛媛県	3,651	2,447	3,154	67.0%	77.6%
高知県	1,377	1,002	1,135	72.8%	88.3%
中四国ブロック	23,409	15,368	22,135	65.6%	69.4%
福岡県	12,191	8,560	13,230	70.2%	64.7%
佐賀県	1,830	1,313	1,311	71.7%	100.2%
長崎県	2,863	2,404	2,811	84.0%	85.5%
熊本県	4,864	3,838	4,733	78.9%	81.1%
大分県	2,327	1,147	1,856	49.3%	61.8%
宮崎県	2,290	1,142	1,815	49.9%	62.9%
鹿児島県	3,298	2,096	2,681	63.6%	78.2%
沖縄県	3,910	2,939	3,852	75.2%	76.3%
九州ブロック	33,573	23,439	32,289	69.8%	72.6%
合計	278,992	203,467	265,798	72.9%	76.5%
差異 (R2-R1)			-62,331		

## 都道府県別20代献血者数

年代	20代				
	20～29歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (元年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	37,400	35,278	37,883	94.3%	93.1%
北海道ブロック	37,400	35,278	37,883	94.3%	93.1%
青森県	7,532	6,869	6,591	91.2%	104.2%
岩手県	7,572	6,559	6,817	86.6%	96.2%
宮城県	16,286	15,503	15,788	95.2%	98.2%
秋田県	7,312	6,554	6,007	89.6%	109.1%
山形県	6,331	5,764	5,867	91.0%	98.2%
福島県	11,949	9,211	9,941	77.1%	92.7%
東北ブロック	56,982	50,460	51,011	88.6%	98.9%
茨城県	14,340	13,605	12,917	94.9%	105.3%
栃木県	11,760	12,266	11,759	104.3%	104.3%
群馬県	12,460	11,293	11,222	90.6%	100.6%
埼玉県	34,710	31,830	30,358	91.7%	104.8%
千葉県	36,110	31,573	33,067	87.4%	95.5%
東京都	123,220	95,864	106,506	77.8%	90.0%
神奈川県	45,210	44,345	42,753	98.1%	103.7%
新潟県	15,980	12,851	14,337	80.4%	89.6%
山梨県	5,040	5,330	4,855	105.8%	109.8%
長野県	11,230	10,069	9,700	89.7%	103.8%
関東甲信越ブロック	310,060	269,026	277,474	86.8%	97.0%
富山県	5,991	5,601	5,424	93.5%	103.3%
石川県	6,503	5,987	6,355	92.1%	94.2%
福井県	4,298	3,413	3,860	79.4%	88.4%
岐阜県	9,329	8,257	8,164	88.5%	101.1%
静岡県	17,632	15,872	15,733	90.0%	100.9%
愛知県	48,853	45,744	46,725	93.6%	97.9%
三重県	7,187	7,586	6,827	105.6%	111.1%
東海北陸ブロック	99,793	92,460	93,088	92.7%	99.3%

年代	20代				
	20～29歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (元年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	7,160	6,305	6,198	88.1%	101.7%
京都府	17,500	16,990	17,873	97.1%	95.1%
大阪府	65,500	59,864	63,323	91.4%	94.5%
兵庫県	32,518	28,315	29,303	87.1%	96.6%
奈良県	6,940	5,884	6,265	84.8%	93.9%
和歌山県	5,100	5,387	5,523	105.6%	97.5%
近畿ブロック	134,718	122,745	128,485	91.1%	95.5%
鳥取県	3,550	2,942	3,106	82.9%	94.7%
島根県	2,931	2,648	2,717	90.3%	97.5%
岡山県	12,032	10,370	11,296	86.2%	91.8%
広島県	21,440	17,168	18,642	80.1%	92.1%
山口県	5,956	5,744	6,147	96.4%	93.4%
徳島県	4,267	3,204	3,542	75.1%	90.5%
香川県	5,121	4,208	4,405	82.2%	95.5%
愛媛県	9,615	8,401	7,865	87.4%	106.8%
高知県	4,522	4,173	4,125	92.3%	101.2%
中四国ブロック	69,434	58,858	61,845	84.8%	95.2%
福岡県	34,650	28,765	30,446	83.0%	94.5%
佐賀県	4,900	4,307	3,984	87.9%	108.1%
長崎県	8,376	6,897	7,051	82.3%	97.8%
熊本県	10,120	9,326	9,819	92.2%	95.0%
大分県	6,489	5,947	6,428	91.6%	92.5%
宮崎県	5,964	5,038	5,060	84.5%	99.6%
鹿児島県	9,826	8,430	9,080	85.8%	92.8%
沖縄県	8,460	7,655	7,647	90.5%	100.1%
九州ブロック	88,785	76,365	79,515	86.0%	96.0%
合計	797,172	705,192	729,301	88.5%	96.7%
差異 (R2-R1)			-24,109		

# 都道府県別30代献血者数

年代	30代				
	30～39歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (元年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
北海道	39,800	40,010	39,470	100.5%	101.4%
北海道ブロック	39,800	40,010	39,470	100.5%	101.4%
青森県	9,450	8,004	8,030	84.7%	99.7%
岩手県	9,202	7,702	7,638	83.7%	100.8%
宮城県	15,904	16,288	15,855	102.4%	102.7%
秋田県	8,551	7,575	7,288	88.6%	103.9%
山形県	7,512	7,428	7,456	98.9%	99.6%
福島県	13,270	12,624	13,526	95.1%	93.3%
東北ブロック	63,889	59,621	59,793	93.3%	99.7%
茨城県	17,550	16,415	15,876	93.5%	103.4%
栃木県	15,440	16,005	14,967	103.7%	106.9%
群馬県	16,170	14,562	14,297	90.1%	101.9%
埼玉県	40,730	36,626	36,216	89.9%	101.1%
千葉県	40,480	36,390	36,002	89.9%	101.1%
東京都	118,380	104,149	105,187	88.0%	99.0%
神奈川県	54,450	50,558	49,628	92.9%	101.9%
新潟県	17,270	15,328	15,824	88.8%	96.9%
山梨県	5,710	5,575	5,100	97.6%	109.3%
長野県	13,900	12,628	11,860	90.8%	106.5%
関東甲信越ブロック	340,080	308,236	304,957	90.6%	101.1%
富山県	7,247	6,139	6,282	84.7%	97.7%
石川県	7,699	7,043	7,265	91.5%	96.9%
福井県	5,328	4,575	4,752	85.9%	96.3%
岐阜県	12,202	10,056	10,149	82.4%	99.1%
静岡県	25,097	21,471	21,505	85.6%	99.8%
愛知県	54,179	48,968	48,843	90.4%	100.3%
三重県	10,285	10,297	9,534	100.1%	108.0%
東海北陸ブロック	122,037	108,549	108,330	88.9%	100.2%

年代	30代				
	30～39歳				
都道府県	① 計画数	② 献血者数	③ 献血者数 (元年度)	④ 達成率	⑤ 前年度比
滋賀県	9,560	8,759	8,308	91.6%	105.4%
京都府	16,100	17,539	16,949	108.9%	103.5%
大阪府	66,300	61,324	60,761	92.5%	100.9%
兵庫県	37,715	34,024	33,020	90.2%	103.0%
奈良県	8,260	7,460	7,630	90.3%	97.8%
和歌山県	6,800	6,853	6,395	100.8%	107.2%
近畿ブロック	144,735	135,959	133,063	93.9%	102.2%
鳥取県	4,850	4,412	4,358	91.0%	101.2%
島根県	3,844	3,612	3,543	94.0%	101.9%
岡山県	13,908	13,064	13,006	93.9%	100.4%
広島県	23,377	19,373	20,988	82.9%	92.3%
山口県	7,830	8,123	7,818	103.7%	103.9%
徳島県	5,732	4,835	4,904	84.4%	98.6%
香川県	7,066	5,993	5,790	84.8%	103.5%
愛媛県	11,010	8,719	8,459	79.2%	103.1%
高知県	5,452	5,180	4,684	95.0%	110.6%
中四国ブロック	83,069	73,311	73,550	88.3%	99.7%
福岡県	40,639	35,482	34,308	87.3%	103.4%
佐賀県	6,500	6,049	5,404	93.1%	111.9%
長崎県	10,907	9,710	9,552	89.0%	101.7%
熊本県	13,200	12,683	12,650	96.1%	100.3%
大分県	8,951	8,295	8,514	92.7%	97.4%
宮崎県	7,488	6,704	6,506	89.5%	103.0%
鹿児島県	12,387	11,877	12,140	95.9%	97.8%
沖縄県	12,310	11,357	11,473	92.3%	99.0%
九州ブロック	112,382	102,157	100,547	90.9%	101.6%
合計	905,992	827,843	819,710	91.4%	101.0%
差異 (R2-R1)	8,133				

### 3 献血血液確保に係る取組について

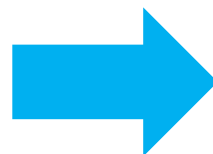
#### (1) 献血推進プロジェクト

2019年度～2020年度

2021年度～

献血つながりプロジェクト

みんなの献血



いこう!献血

#### 新規プロジェクトのメインターゲット 【10～30代の若年層世代】

- ① : 10代及び20代前半の初回献血者の増加 (トライアル獲得)
- ② : ①で獲得した献血者について2回目以降の再来促進 (囲い込み)
- ③ : 20代・30代の献血経験者の再来促進 (リピート促進)

# 「みんなの献血」 広報物

## 等身大パネル



数量:5種×74セット:合計370体 サイズ:約1,600×600mm  
(ステレン7mm)

## オリジナルグッズ告知ソロポスター



デザイン:各メンバーソロ  
数量:16,000部×5種(オリジナルグッズ配布時期に合わせて納品)

## 両面クリアファイル



表面:キービジュアル(通年用ポスターデザイン活用)  
裏面:献血に関する情報 数量:600,000部

## 卓上三角POP (2種) ※下記デザインは献血会場用



【献血ルーム用】数量3,000部

1面-みんなの献血メッセージ / 2面-年間プロモーション / 3面-ラブラッド

【学校・企業用】200,000部

1面-みんなの献血メッセージ / 2面-年間プロモーション / 3面-献血に関する情報

## A4告知チラシ



表面-みんなの献血メッセージ / 裏面-年間プロモーション

数量:1,000,000部

## 会場別告知用ポスター



デザイン:献血会場告知用ブランクスベースあり

数量:B2 11,000枚 B3 26,000枚

# 「みんなの献血」オリジナルグッズ

10代～30代の献血協力いただいた希望者の方へ配付  
 (40代以上でも39歳以下のご家族または知人の方がいる希望者の場合配付)

配付期間	オリジナルグッズ
4/3～6/30	クリアファイル
7/1～8/31	付箋
9/1～10/31	ステッカー
11/1～12/31	入浴剤
1/1～3/31	マスクケース



## 「みんなの献血」ナビVol.2

### 《記事内容》

- 表紙：乃木坂46を起用
- P1・2 「みんなの献血」プロモーション紹介
- P3 オリジナル献血絵本、ありがとうの手紙動画
- P4 献血会場の新型コロナウイルス対策
- P5・6 献血に関する情報、献血の手順
- 裏表紙 ラブラッドの紹介

【体裁・部数・納品日】 B5版8Pカラー・630,000部  
※Webサイトにも同コンテンツを掲載していた



各センターにおける献血推進活動（企業・団体・個人）や血液事業本部関連イベントにて配付。

献血未経験者への献血手順、新型コロナウイルス対策の紹介としても活用した。



## 乃木坂46 × 「みんなの献血」 オリジナル年賀状施策

### 【概要】

・ラブラッド会員に対して、新年の挨拶や献血協力への感謝を伝えるとともに、継続的な献血協力を促すことを目的として、ラブラッドのアンケートフォームを通じて応募のあった先着30,000名に対して、年賀状を送付した。

・年賀状送付者を献血予約に導くため、予約日に献血会場にて年賀状を提示のうえ、献血いただいた方（先着20,000名）に対して、「乃木坂46 × 『みんなの献血』 オリジナルポスター」を配付した。

### 【送付状況】

住所不備等を除き、28,744名の方が元日にオリジナル年賀状を受け取った。内、19,584名に協力いただいた。



年賀状デザイン



ポスター（B2）デザイン

## 特別オンライン献血セミナーの開催 友寄蓮の「ありがとうの手紙 From 献血で救われたいのち」

献血セミナーに輸血経験者である、女優の友寄蓮さんをお招きし、新しい生活様式に配慮したオンライン形式により、自身の闘病中の実体験を生の声で伝えることで、献血の大切さを直接訴えた。

- 登壇者：友寄蓮
- 授業時間：40分程度
- 受講対象者：高校生・大学生
- 実施回数：4回
- 配信プラットフォーム：Zoom



実施日	実施校	参加人数
11/16	奈良女子大学（奈良県）	講義受講者 約300人
11/19	九里学園高等学校（山形県）	3年生約140人
12/4	湘南学院高等学校（神奈川県）	3年生487人
12/23	崇徳高等学校（広島県）	813人（1年生458人、2年生355人）

### 湘南学院高等学校での献血実績

献血実施日時：令和2年12月21日（月）9：30～15：30 晴れ（バス2台）

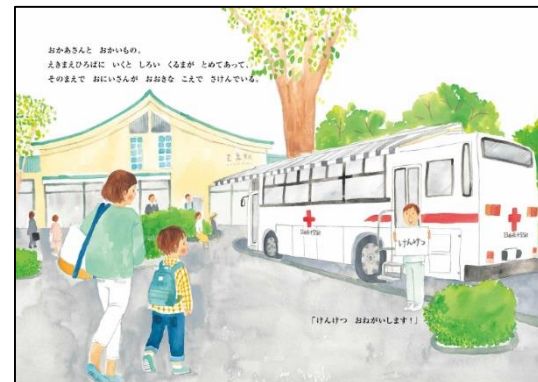
受付数	200mL	400mL	採血計	不適
126	22	75	97	29

※前年度、前々年度の献血応募実績は60名前後

# けんけつのはなし オリジナル献血絵本

オリジナル献血絵本「けんけつのはなし」のB6版  
約100,000冊を全国の私立幼稚園・保育園・子ども園  
の児童に配付。

「けんけつのはなし」の読み聞かせ動画をWebから  
も閲覧可能。



## オリジナル献血絵本納品先

幼稚園		保育園		認定こども園		合計	
園数	部数	園数	部数	園数	部数	園数	部数
174	40,910	183	28,460	167	30,830	524	100,200



## ラブラッド会員限定メール配信

### 《概要》

イメージキャラクターの乃木坂46メンバーからのメッセージと献血推進のイメージ画像などを添付してラブラッド会員へメール配信。

本人からのメッセージを届けることで等身大の若年層及びファンに自分事化を促し、献血行動を誘発する。


### ・原稿

4本分（7月・9月・11月・1月のグッズプレゼントに合わせて）

### ・画像及びメッセージ

梅澤美波・遠藤さくら・賀喜遥香・久保史緒里の計4種

※4月も配信を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大により見送った

 日本赤十字社【ラブラッド】 2021/01/02  
宛先:

### 「みんなの献血」オリジナルグッズ 第五弾のお知らせ

「みんなの献血」イメージキャラクターを務めている  
乃木坂46の賀喜 遥香です。

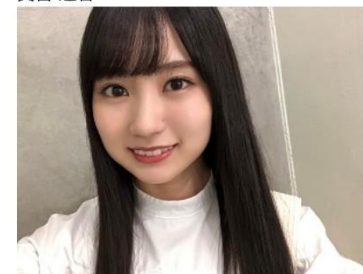
みなさん、あけましておめでとうございます！  
2021年になりましたね！みんなで元気に、楽しく  
過ごせる素敵な1年になるよう、心から祈っています。  
これからも手洗い・うがいを意識して、健康管理を  
しっかりとしていきましょう～！  
ちなみに、私は今年の8月で20歳になります！  
どんな1年になるかなあ...今からどきどきで楽しみ  
みです。

ここでお知らせです！  
今、献血バスや献血ルームで献血をしてくださった  
方に、  
「乃木坂46×みんなの献血」オリジナルマスク  
ケースをプレゼントしていますよ！  
とってもかわいいデザインなので、是非みなさん  
に使ってもらいたいなあ。

ここでお知らせです！  
今、献血バスや献血ルームで献血をしてくださった  
方に、  
「乃木坂46×みんなの献血」オリジナルマスク  
ケースをプレゼントしていますよ！  
とってもかわいいデザインなので、是非みなさん  
に使ってもらいたいなあ。

それでは！

賀喜 遥香



=====  
=====  
【日本赤十字社からのご案内】「みんなの献血」  
オリジナルグッズ第五弾実施中！（期間：  
2021/1/1(金)～3/31(水)まで）

# みんなの献血×ソードアート・オンライン アリシゼーション

2枚集めることで、大きな1つの絵が完成するデザイン

## 1) 描き下ろしイラストを活用したオリジナルグッズプレゼントキャンペーン (2回)

献血にご協力いただいた希望者の方にオリジナルクリアファイルをプレゼント。

### ■プレゼント配付期間

第1弾：令和3年1月1日（金）～同年2月28日（日）

第2弾：令和3年3月1日（月）～同年5月7日（金）

■製作物：クリアファイル ■数量：20,000枚×2回



第1弾

第2弾



## 2) Twitterキャンペーン

「みんなの献血」公式Twitterアカウント (@min\_ketsu) をフォローの上、本キャンペーンの告知ツイートをリツイートしていただいた方に抽選で100名にオリジナルポスター（B2サイズ）をプレゼント。

■応募期間：令和3年1月1日（金）～同年1月31日（日）

■応募総数：5,424件

## 3) キャラクターが献血を訴求

作品内に登場するキャラクターたちが『献血』を親しみやすく解説する特設Webページを制作。



## (2) 献血の社会的重要性の認知度向上に向けた広報活動

- ・ 輸血を受けた方やその家族の声を閲覧できるシステムの拡充
- ・ 献血血液が輸血用血液製剤に加え、血漿分画製剤の原料としても使用されていることの周知  
(パンフレット作成)

### 【輸血を受けた方の感謝の声 (ラブラッドな声)】

 ラブラッドな声

献血に助けられた人の声

## 輸血には大きな力があります！

Tさん



**放射線治療**

私の息子もその大きな力に支えられた一人です。  
1歳10ヶ月の時に小児がんを発症した息子は、長時間の手術や長期間に及んだ放射線治療により、放射線治療が受けられないほどに状態が悪化していました。

**輸血の経験**

そんな時に初めての「輸血」を経験しました。  
輸血を受けた息子の手足は温かさが戻り、その後の治療も無事に乗り越えることができました。  
これからも献血をしてくださった皆様に感謝をしながら、息子とともに一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

### 【血漿分画製剤の必要性を訴える医師の声】

ヒトの血液から作られる免疫グロブリン製剤は、神経系の病気の治療に無くしてはならないものです。特にギランバレー症候群 (GBS) や、慢性炎症性脱髄性ニューロパチー (CIDP) ・多巣性運動ニューロパチーは、現在、治療手段の中心になっています。

これらはいずれも免疫異常によって起こる末梢神経の病気で、手足の麻痺やしびれのため日々の生活を送ることが困難となりますが、免疫グロブリン製剤は、これらの障害の進行を抑え、症状の回復を促進します。

GBSは、呼吸をする筋肉の麻痺や自律

神経障害により命に関わることもあり、早期の治療開始が必要です。また、CIDPでは繰り返しの投与や、維持療法も必要とされています。

患者さんの命を救い、生活の質の改善や長期的な身体機能の維持に必要な免疫グロブリン製剤のニーズは益々高まっており、日本国内での献血による安心・安全な免疫グロブリン製剤が安定的に供給されることを期待します。



千葉 厚郎先生  
(杏林大学神経内科教授)

⇒ 献血を通じた社会貢献実感の向上や国民の献血への理解促進を目指す

### (3) 献血Web会員サービス「ラブラッド」の展開

献血者への献血協力依頼について

献血Web会員サービス「ラブラッド」を活用し、年間献血回数を増加させる。



# 献血者に占めるラブラッド会員構成

献血者 5,037,920人

令和2年度実績

ラブラッド会員 3,347,556人  
(66.4%)

非会員 1,690,364人  
(33.6%)

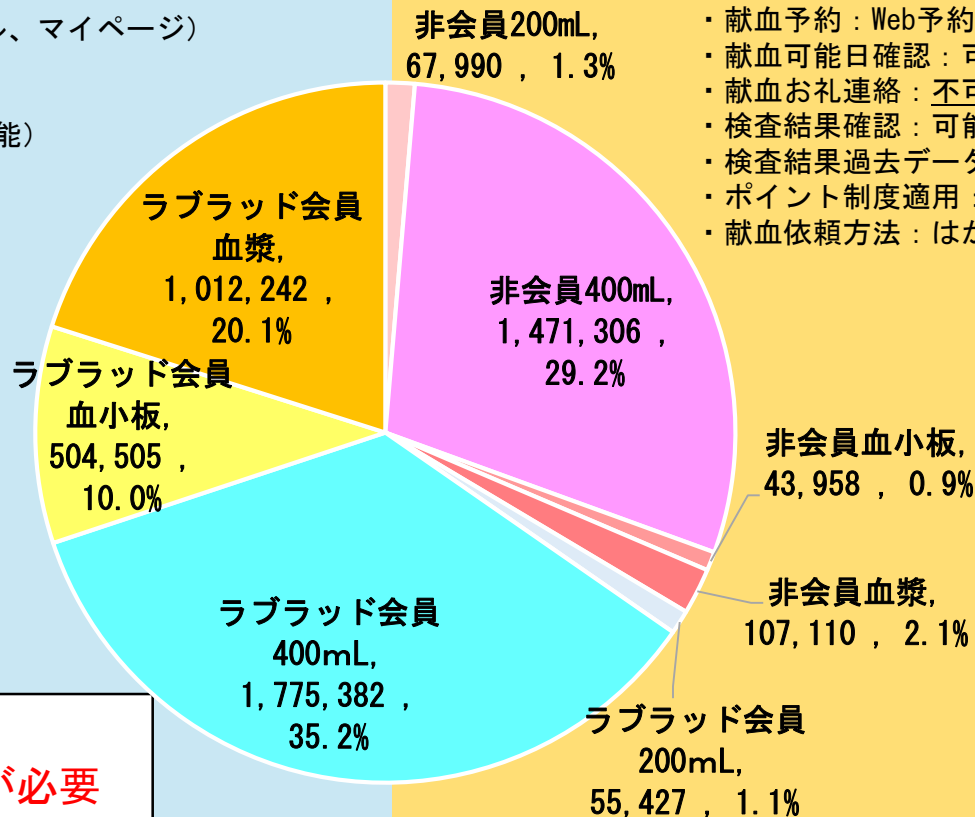
## 献血推進・予約システム機能の活用

- ・献血予約：Web予約可能、職員対応可能
- ・献血可能日確認：可能（お知らせメール、マイページ）
- ・献血お礼連絡：可能（翌日自動送信）
- ・検査結果確認：可能（メール、2～3日）
- ・検査結果過去データ：可能（Web閲覧可能）
- ・ポイント制度適用：可能
- ・献血依頼方法：メール、LINE（はがき）

## 献血推進・予約システム機能の活用

- ・献血予約：Web予約不可、職員対応可能
- ・献血可能日確認：可能（献血カード）
- ・献血お礼連絡：不可
- ・検査結果確認：可能（はがき、5～10日）
- ・検査結果過去データ：可能（はがき直近5回）
- ・ポイント制度適用：不可
- ・献血依頼方法：はがき、ポスター、呼びかけ

## 献血推進・予約システムの積極的な活用が可能

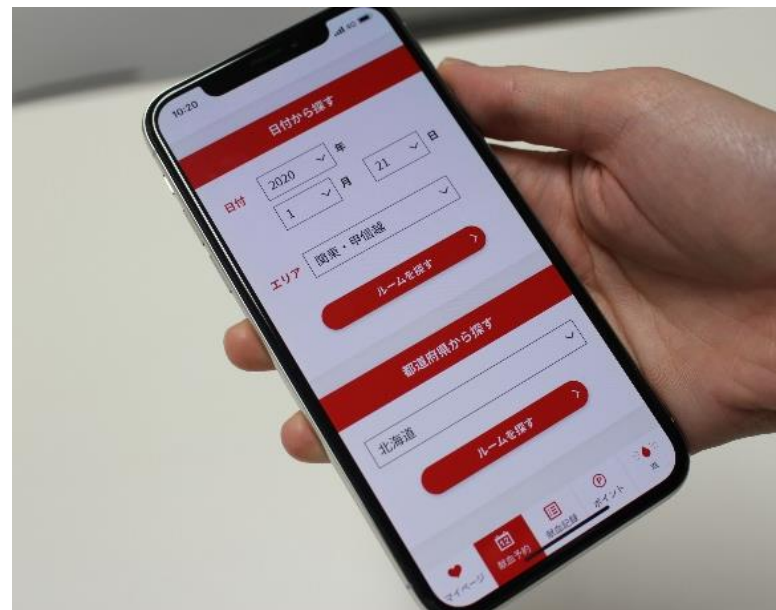


システムを活用するために  
ラブラッド会員比率の増加が必要



## 献血Web会員サービス「ラブラッド」を活用した献血及び予約の推進

- ・「ラブラッド」の登録会員の獲得のほか、献血協力の事前予約を推進  
⇒必要血液量を計画的かつ安定的に確保
- ・「ラブラッド」で抽出した循環血液量の多い方を中心に、献血協力を依頼  
⇒必要血液量を少ない献血者数で効率的に確保



### 【「ラブラッド」の活用状況】

	ラブラッド会員数	予約率 (血小板成分献血)	予約率 (血漿成分献血)	予約率 (全血献血)
ラブラッド導入時	約155万人	28.9%	21.4%	1.5%
令和元年度	約204万人	40.5%	31.9%	1.9%
令和2年度	約247万人	67.6%	61.3%	10.3%
増減 (R2-R1)	<b>約43万人増</b>	<b>27.1ポイント増</b>	<b>29.4ポイント増</b>	<b>8.4ポイント増</b>

ラブラッド会員数は増加し、予約率も向上



## (2) 新型コロナウイルスワクチン接種者への対応

厚生労働省から新型コロナウイルスのRNAワクチン（mRNAワクチンを含む）接種者の採血制限期間が示されたことから令和3年5月14日から献血受入を可能としていること。

- ・ 1回目、2回目いずれの場合も、接種後48時間を経過してした方
- ・ その他の種類のワクチンを接種された方は、現時点では献血をご遠慮いただいていること。

### 日本赤十字社本社ホームページ

#### 一定期間内に予防接種を受けた方

インフルエンザ、日本脳炎、コレラ、A型肝炎、肺炎球菌、百日せき、破傷風等の不活化ワクチンおよびトキソイドの接種を受けた方は、接種後24時間の献血をご遠慮いただいています。

B型肝炎ワクチンの接種を受けた方は接種後2週間、抗HBs人免疫グロブリンを単独または併用した方については投与後6か月間、狂犬病ワクチン（動物にかまれた後）を接種された方は接種後1年間の献血をご遠慮いただいています。

おたふくかぜ、風疹、BCG等の弱毒生ワクチンの接種を受けた方は、接種後4週間、天然痘ワクチンの接種後は2か月間、破傷風、蛇毒、ガスエソ、ボツリヌスの抗血清の投与を受けた方は投与後3か月の献血をご遠慮いただいています。

新型コロナウイルスのRNAワクチン（mRNAワクチンを含む）を接種された方は、1回目、2回目いずれの場合も、接種後48時間を経過していれば献血にご協力いただくことが可能です。なお、現在承認されているRNAワクチンは、ファイザー社と武田/モデルナ社となります。また、その他の種類のワクチンを接種された方は、現時点では献血をご遠慮いただいています。

【一定期間内に予防接種を受けた方】

### 献血会場における掲示物

#### 新型コロナウイルス ワクチン接種に関するお願い

**ワクチン\*を48時間以内に  
接種された方は献血を  
ご遠慮いただいております。**

※令和3年5月10日現在、国内で使用されているワクチンはRNAワクチンのみです。

**ワクチンを接種されたことがある方は、  
献血受付時に職員にお申し出ください。**

新型コロナウイルスワクチンに関する詳しい情報は下記アドレスをご確認ください。

<https://www.ovv19-vaccine.mhlw.go.jp/>

（厚生労働省HP：「新型コロナウイルスワクチンQ&A」）



【新型コロナウイルスワクチン接種に関するお願い】

## (3) 緊急事態宣言への対応

### 【行政対応】

献血は医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針において事業の継続が求められる事業者として「献血を実施する採血業」が含まれている。今後、献血血液確保が困難となることが想定されることから、各地域ごとに行政と連携を図り献血血液確保に関する対応等について協議すること。

献血血液確保に関する報道及びマスコミ対応について各地域が自律的に対応すること。  
(例) 知事等の発言を依頼 : 医療に不可欠な献血への協力をお願いしたい。

### 【商業施設停止】

各都道府県知事から商業施設等の停止の要請に採血固定施設が関係している場合、行政にも協力を仰ぎ施設オーナーに対し、開所に向けての協議を行うこと。  
ブロック血液センターへ行政等との協議内容を報告すること。

採血計画に関する献血血液確保シミュレーションを行い、今後の在庫推移についてブロック血液センターと協議し対策を講じること。

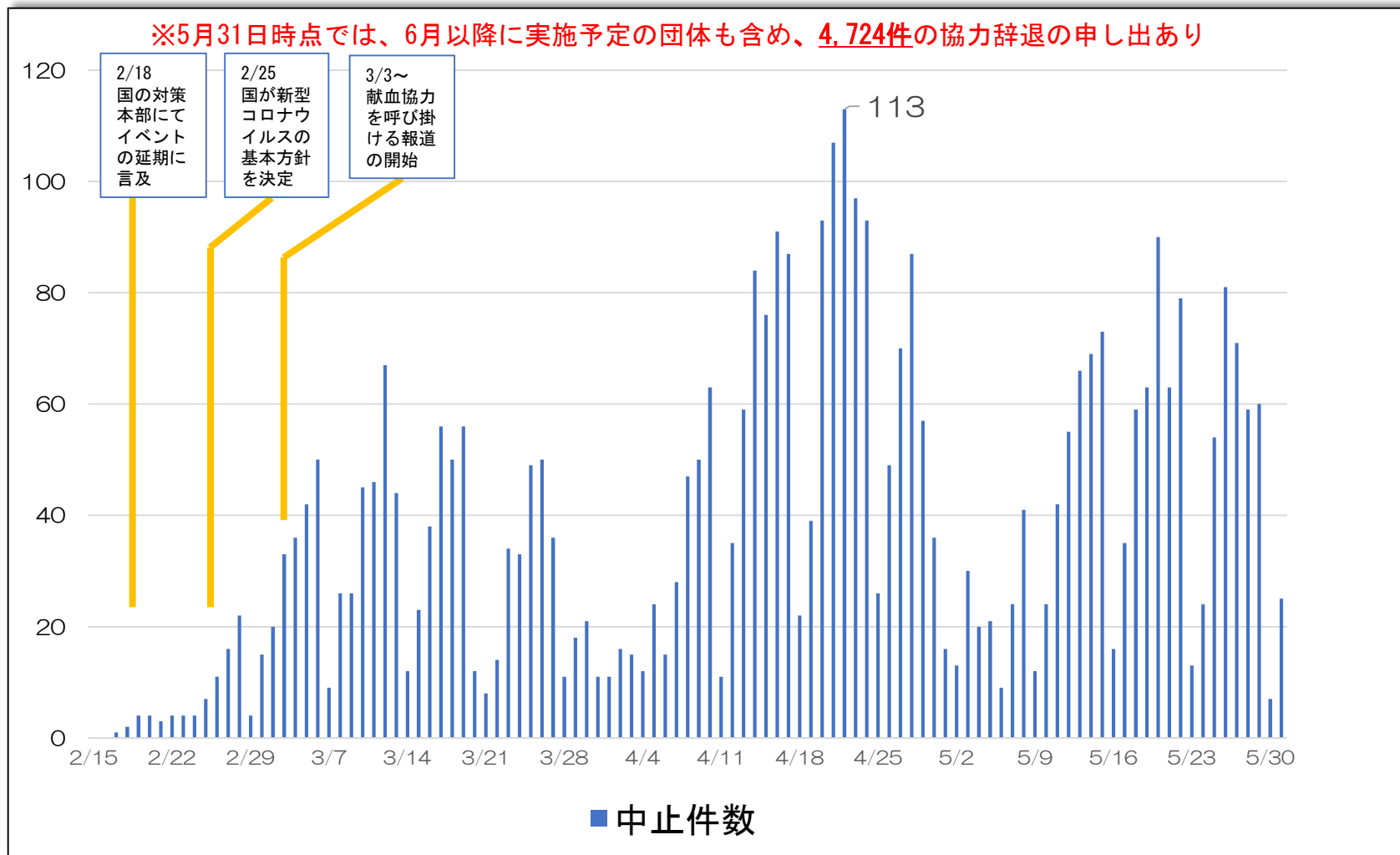
### 【施設等の環境整備】

採血施設での献血者及び職員が接する機材（ドア・自動販売機ボタン・テーブル・椅子等）については、こまめな消毒対応をすること。

献血会場の入場者（マスク不着用者全員）に、事前にマスクを配布し着用を依頼するなど感染予防対策を図ること。

# (4) 参考 献血実施の中止件数の推移 (令和2年2月15日～5月31日実施予定分)

件数 ← 計4,004件の協力辞退の申し出 →



## 5 まとめ

- ・ コロナ禍においても、輸血用血液製剤及び原料血漿を滞りなく安定供給した。
- ・ 「新しい生活様式」は、アフターコロナにあっても定着すると思われ、集団献血から個々の献血、イベント型からWeb（SNS等）主体の施策など、新たな献血血液確保施策への転換が必要である。
- ・ 10代及び20代前半献血者については、YouTube、SNS等の施策で初回献血を推進し、献血Web会員サービス「ラブラッド」を活用して2回目以降の献血に繋がるよう引き続き取り組む。
- ・ 献血予約を推進することで献血会場の混雑回避及び待ち時間を解消する等、安全性並びに利便性を高め、献血にご協力いただける機会の増加を図る。
- ・ 小学生から大学生への啓発（献血セミナー等）については、インターネットを活用したオンラインでの実施を取り入れながら、厚生労働省をはじめ、国・行政との連携を密にして積極的な展開を図る。